

東日本大震災の被災地から県内に避難している人らでつくるグループ「Dream-Style」が、23日午前9時から倉敷市のJR倉敷駅前で街頭募金を計画し、参加ボランティアを募っている。

グループは、福島第1原発事故で福島県浪江町から倉敷市に避難している小林弘典代表らが立ち上げ。被災地の復

倉敷です街頭募金

県内避難者グループ

ボランティアイ集まれ

興や避難者の生活支援のため、募金活動や講演会などを行っている。

岡山で被災者を受け入れる体制づくりにも取り組む小林代表は「多くの人を支援するため協力して」と話している。問い合わせは小林代表(080-6057-6134)。

(三島翔)

被災者励ます

国際医療ボランティアAMDA(本部・岡山市北区伊福町)が、東日本大震災で被災した岩手県大槌町で8月11日に開かれる花火大会「LIGH T UP NIPPON」で、被災者に着てもらおう浴衣、甚平の提供を呼び掛けている。

花火大会は、津波被害が大きかった太平洋沿岸の各地で、追悼と復興への願いを込

岩手の花火大会で着用

AMDA

浴衣、甚平寄せて

めて同日夜、一斉に開催。被災地では浴衣などが不足しており、医療支援などしていたAMDAに大会実行委から協力の依頼があった。

クリーニング済みの子ども用、大人用それぞれ100着を募集。25日(必着)までに、AMDA本部(086-252-7700)に郵送か持参する。